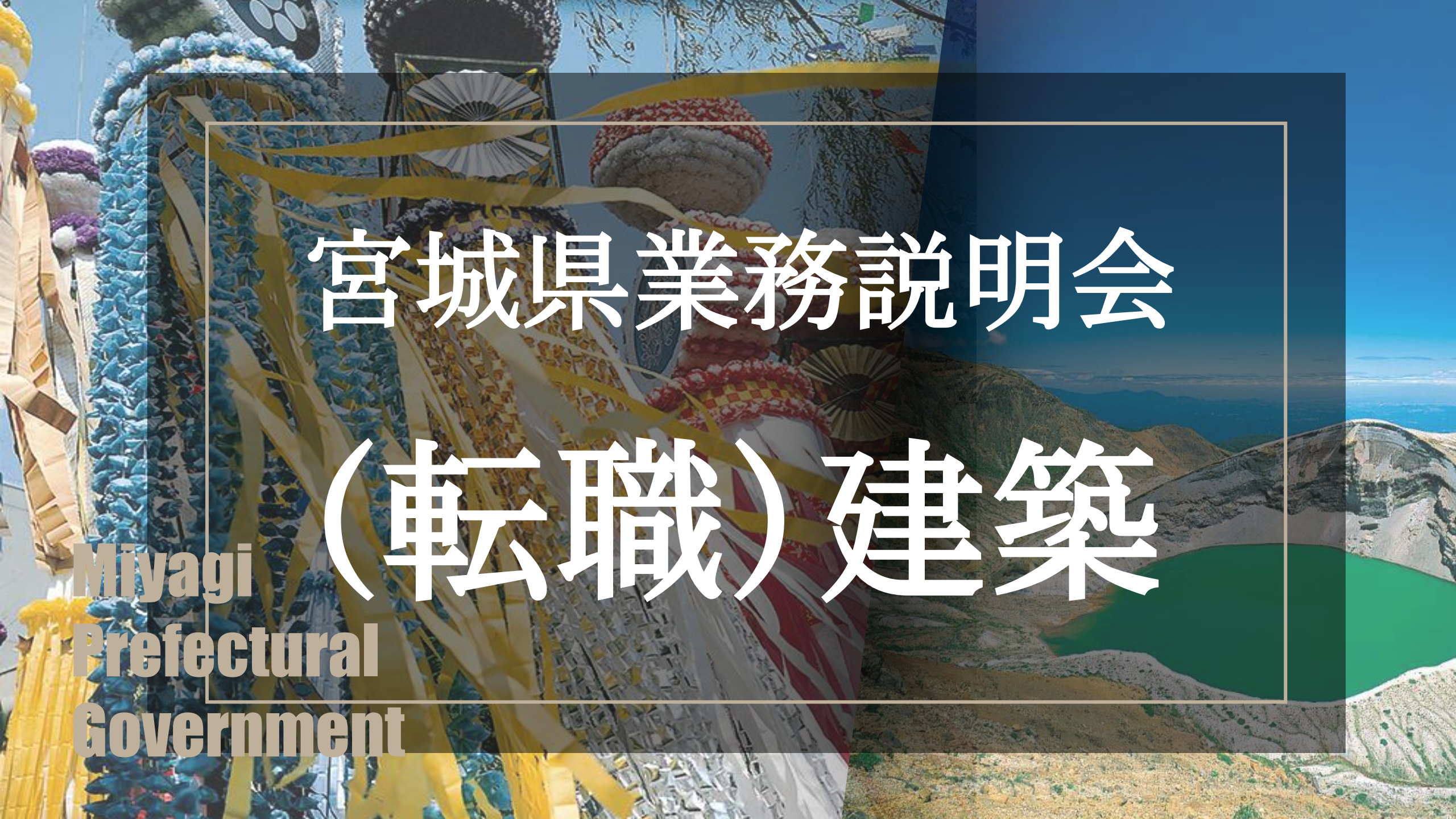




宮城県業務説明会 (転職)建築

Miyagi
Prefectural
Government

建築職の仕事

県有施設の整備・維持管理、許認可業務（建築確認・開発許可）などの建築行政

配属先

本庁：建築宅地課、住宅課、営繕課など
地方機関：土木事務所（5か所）

自己紹介 青森県出身

H22.3月 県内大卒業

H22.4月～ 東北地区国立大学法人入職

大学施設の計画、施工監理、維持保全

H27.4月～ 総務部 管財課 施設班

庁舎設備の維持管理、営繕

H30.4月～ 仙台土木事務所 建築第二班

開発許可・長期優良住宅などの許認可業務

R3.4月～ 土木部 建築宅地課 開発防災班

都市計画法関係の許認可業務

R6.4月～ 土木部 営繕課 営繕第二班

県有施設の営繕（設計および施工）

志望動機

なぜ公務員だった？

県外の大学で働いていた際に東日本大震災を経験。
被災地の復旧・復興の力になり、経験を防災に活かしたい
と思いました。

なんで宮城県庁を選んだ？

建物やインフラの被害が一番大きかったのが宮城県でした。
より広域の視点・分野で経験をした方が、自分の成長につな
がると考え、市役所や町・村役場ではなく県を選びました。

担当した仕事

土木部 営繕課 営繕第二班

営繕業務： 設計・工事の発注から
検査まで



担当業務

教育庁施設（高等学校・支援学校）
などの改修・改築（設計と工事）



1日のスケジュール

8:00 出勤

9:00 工事現場へ出発

12:00 昼休み

10:30 工事現場で施設管理者と
施工者と打合せ

13:00
引き続き施工者と
打合せ

16:45 退勤
子どものお迎え

15:30 帰庁
打合せ記録作成

大変だったこと

県外出身で土地勘もなく、工事を進めている場所まで向かう道がよく分からず大変でした。通る度に復旧工事で建物が変わっていたり、道を迂回したりでしたが、復旧が進む様子を見て感じることができました。

心掛けてのこと

自分だけの仕事の楽しみを見つける。

分からないこと・疑問は**調べる＋話す**

分からないまいることの方が恥ずかしいので、聞いてしまいます。

働き方・休み方

時差勤務制度があるので、少し早く出勤、退勤して子どものお迎えに向かいます。仕事と家庭を両立できるよう、計画的に連休を作って旅行など、メリハリをつけて働く・休むようにしています。

入庁前のイメージとギャップ

入庁前は、
静かで堅苦しい人が多い職場

実際は、
建築職はさまざまな経歴の人がいて、面白い人が多い。笑い声が聞こえる。

前職とココが違った！

教えたがりが多いかも？

職場は質問しやすい雰囲気、困ったこと分からないことは周りの人と一緒に話し合ったり、聞きつけた人が来て助言や有益な情報をくれたり、風通しがよいです。

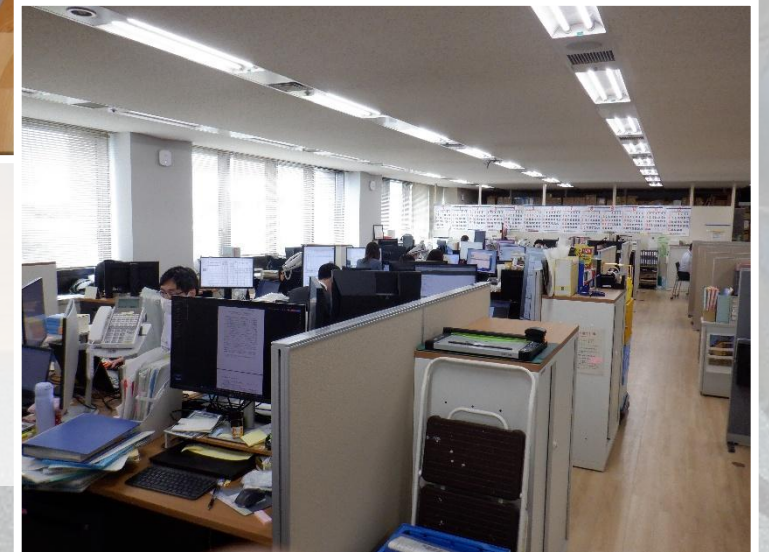
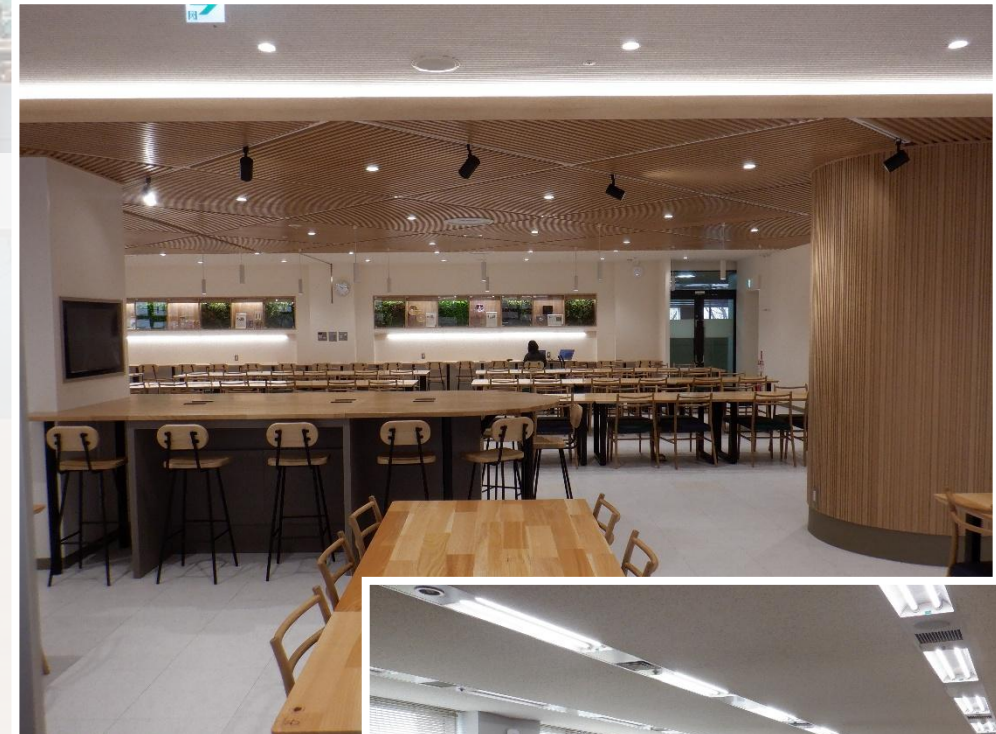
前職の経験が役に立った！

打合せは重ねるごとにレベルアップ

前職でも現職でも人と人との関わり（協力・交渉・調整）の中で、目的に向かって前に進める力がついてきたことを実感。

職場の雰囲気

オフィス改革が進み、雑然とした執務室から明るい環境に変化しています。
4月には食堂がリニューアルされ、多目的（集中作業やweb会議）に利用できるようになりました。



働いて感じる宮城県職員の魅力

- ・ チーム土木部として、職員みんなが目的を共有している。
- ・ 上司のリーダーシップだけに頼らず、圧倒的なチームワークで仕事を進められる。
- ・ 研修など人財教育が充実。
- ・ 生成AI・DXの積極的活用で仕事の抜本的見直しを推進している。

私の公務員試験対策

専門試験（建築）は、二級建築士試験の参考書で過去問を勉強しました。
教養試験の部分は、地方公務員試験の参考書で過去問を練習しました。

みなさんへのメッセージ

宮城県（土木部）では、**失敗を恐れない新たなチャレンジ**
で**前例主義の打破**に取り組んでいます。

みなさんがこれまで熱中した趣味や続けてきた活動で得た
経験、知識、個性が新しい風となり、強い力となることを
期待しています。